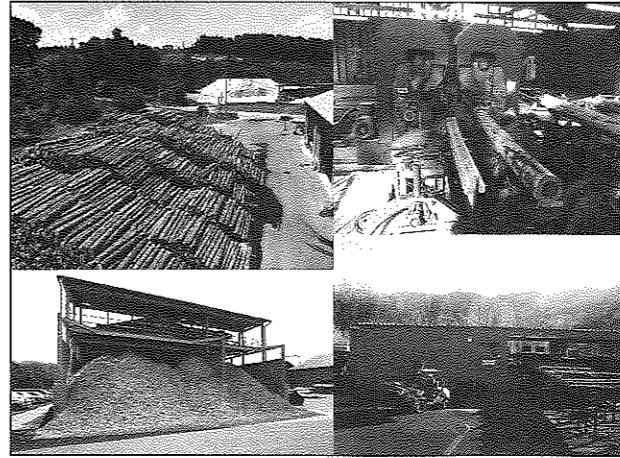


No.210

林業ぐんま



A・B・C材全量一括・定額買取システムで
森林組合の集約化施行推進・素材生産量増大を支援!!

JForest 群馬県森林組合連合会
代表理事会長 八木原 勇治

本所 前橋市上大島町182-20 ☎ (027)261-0615(代)
渋川県産材センター
渋川市白井乙佐又1236-4 ☎ (0279)22-5000(代)

令和二年一月一日 発行

上毛緑産工業株式会社

代表取締役 高橋 範行

ISO9001 認証取得

本社 〒370-3607 群馬県北群馬郡吉岡町小倉 827-87 TEL 0279-54-7723 FAX 0279-54-8603
仙台営業所 〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室 4-2-35 TEL/FAX 022-786-1406
URL <http://www.jouryoku.com/> E-Mail webmaster@jouryoku.com

表紙の写真

・平成三十年度森林土木写真コンクール最優秀賞受賞作品
・撮影場所 みどり市東町花輪地内
・撮影者 桐生森林事務所 中山 雅文

～ 人づくりから森林づくりまで
群馬の山を守り、確かな技術で地域に貢献する ～

一般財団法人 群馬県森林・緑整備基金

〒370-3503 群馬県北群馬郡榛東村大字新井2935
群馬県林業試験場 別館内
TEL 027-386-5901 FAX 027-386-5902

法面保護工事 土木建設資材 設計 施工 販売

市川工業株式会社

代表取締役 市川 芳江

〒370-2454 富岡市田島377-2
☎(0274)63-0891(代) FAX(0274)64-1511

発行責任者 狩野 浩志
印刷 杉浦印刷株式会社

目次

会長、森林環境部長新年あいさつ	1
林政情報	2
令和元年度群馬県建設工事表彰 森の談話室	3
みどり市の森林・林業の取り組みについて みどり市産業観光部次長 岩間哲士さん 各地のたより	4
(渋川) 高校生に向けた林業従事者 確保の取組	4
(西部) 皆伐造林先進地視察研修を開催 (藤岡) 地上レーザースキャナーによる 災害調査	5
(富岡) かぶら森と木のまつりで 木材の良さをPR	6
(吾妻) 「林業労働災害防止対策研修会」を 開催	7
(利根沼田) 「森林整備ボランティア」を 実施	8
(桐生) わたらせ森と木のまつり 森林・緑整備基金から カラマツの需要に向け 地域を担う人	9
黛 俊和さん 三井田大地さん 細谷 北斗さん 鶴淵 勲さん 金井 隆広さん 金子 寛人さん 林業労働力確保に向けて 林業労働力支援センター トビックス	10
第44回群馬県児童生徒木工工作コンクール 林業労働災害撲滅キャンペーン ぐんま住まいの相談センターから	11
「2019ぐんまの家」 設計建設コンクールについて	12
	13

新春

2020

「林業ぐんま」はホームページでもご覧になれます
<https://gun-fukyu.jimdofree.com/>

群馬県林業改良普及協会

林政情報



群馬県林業改良普及協会会長
狩野 浩志

新年明けましておめでとうございます。皆様には、日頃から本会の運営に格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私こと、昨年五月の総会で会長に選任されました。もとより微力ではありませんが本会の発展に全力で努力してまいりる所存ですので、前任者にならぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて昨年また、度重なる猛烈な台風の襲来、豪雨など大きな自然災害が頻発した一年でした。本県に於いても各地で甚大な被害が発生しました。災害により亡くなられた方々や被害にあわれた皆様方に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。大きな災害が連続して起きる昨今、改めて災害に対する不断の備えの重要性を痛感した次第です。特に、山地災害の防止には、多面的な機能を高度に発揮する森林の育成に向けた継続的な取り組みが不可欠であると思えます。国においては、昨年四月から新たな森林経営管理制度と森林環境譲与税をスタートさせました。また、本県では、「ぐんま緑の県民税」事業の第二期目がスタートし、「林業県ぐんま県産木材利用促進条例」が施行されたところです。これらの取り組みは、健全な森林の整備・保全を通じ、県民の安全・安心の確保、地球温暖化の防止等に大いに寄与するものと大変心強く、関係者の皆様のご努力に対し深く敬意を表する次第であります。

本年は、「群馬県森林・林業基本計画」の最終年度にあたりますが、素材生産量二十万立米から四十万立米へ倍増させる大きな数値目標達成に向け、順調な推移をしていると聞いており、期待を寄せているところであります。県産木材の活用は、森林整備の促進を通して、山地災害や地球温暖化の防止にも繋がるものです。

本会といたしまして、全国の優れた林業事例や最新の林業技術・生産システム等皆様を紹介し、また普及することを通じ、本県林業の発展に少しでも寄与できればと願っております。

結びに、皆様のご健康と益々のご活躍、そして今年が皆様にとって良い年でありますことをご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

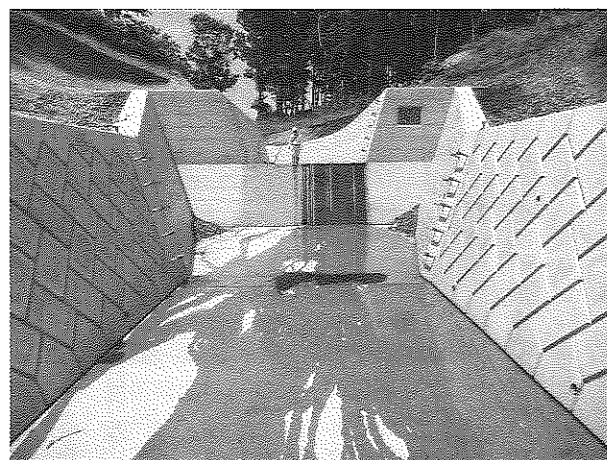
令和元年度 群馬県建設工事表彰

群馬県建設工事表彰は、群馬県が発注した建設工事等を適正な工程管理と優れた施工技術によって完成させ、その出来形や品質が優れており他の模範となる方々を表彰することにより、建設業等の発展及び技術の向上に資することを目的として行っています。

令和元年度の森林環境部発注の表彰工事は、平成三十年度に完成した契約金額五百万円以上の工事二百三十二件の中から、知事表彰三件、部長表彰六件が選ばれ、表彰式がそ



①北群馬郡吉岡町上野田(上野田)



②利根郡昭和村生越(梨木平)



③みどり市東町花輪(中ノ沢)

れぞれ九月三十日、十月十日に行われました。また、所長表彰として、森林環境・森林事務所においても優れた工事を表彰しています。受賞された皆様おめでとうございます。

治山事業や林道事業に係る森林土木工事は、平地での工事とは異なり、地形や地質、傾斜など、極めて厳しい条件において施工しなければならぬ現場が多く、受注される方々には並々ならぬ御苦労をおかけすることと思いますが、引き続き、安全第一で高品質の工事を完成していただくよう、御協力をお願いいたします。

(森林保全課)



群馬県森林環境部長
桑原 雅美

あけましておめでとうございます。群馬県林業改良普及協会の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、令和の時代の幕が開き、国民にとって大きな節目の年となりました。そして、本県においては7月に山本一太新知事が就任し、新しい県政のスタートを切ったところです。

今夏には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、メイン会場となる新国立競技場には47都道府県の木材が使われており、林業にとって明るく誇らしい話題となっております。

さて、昨年4月には「森林経営管理法」や「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行され、国を挙げて林業への取り組みが加速しています。本県においても、同月から「林業県ぐんま県産木材利用促進条例」が施行され、県産木材の利用促進を強化しております。また、災害に強い森林づくりや里山・平地林等の環境改善を目的とした「ぐんま緑の県民税」についても、県民の皆様のご御理解を得て2期目に入りました。引き続き、「林業県ぐんま」の実現に向けて着実に前進して参ります。

昨年は台風第19号により県内においても甚大な被害が発生し、現在、職員一丸となって災害復旧に取り組んでいるところです。森林の持つ防災上の役割について改めて振り返り、国土保全や水源涵養等の公益的機能が十分に発揮されるよう、森林の適切な整備を推進して参ります。

また、本県のきのこ生産につきましては、生産量が全国上位にあり、本県の重要な産業と位置付けられております。安全・安心を基本に、県民の皆様にご喜んでいただけるよう、きのこの生産指導に引き続き全力で取り組んで参ります。本年も市町村や関係団体の皆様と連携し、本県の林業・木材産業及びきのこ産業の発展のため力を尽くして参りますので、皆様のご御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様の御活躍と御健勝を祈念申し上げます。新年の御挨拶といた

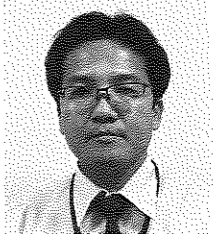
令和元年度 群馬県建設工事表彰(知事・部長)受賞者

知事表彰(森林環境部) 3箇所 3社				
施工者	主任技術者	発注事務所	写真番号	
勝野建設 勝野 政和	岸 克己	渋川森林	①	
石坂建設 諸田 光二	加藤 房夫	利根沼田森林環境	②	
桐金子建設 金子 和利	金子 晴三	桐生森林	③	

森林環境部長表彰 6箇所 6社				
施工者	主任技術者	発注事務所		
桐木 馨組 木暮 唱	深代 優次郎	渋川森林		
勝野建設 勝野 政和	岸 克己	渋川森林		
桐大手組 大手 一信	井上 誠	西部森林環境		
安中土建 大澤 信太郎	鬼形 一男	西部森林環境		
萩原建設 萩原 信夫	高橋 道徳	富岡森林		
桐高 特 設楽 雅之	吉田 弘二	吾妻森林環境		

森の談話室

みどり市の 森林・林業の取り組みについて みどり市産業観光部次長 岩間 哲士さん



岩間さん

「林業ぐんま」をご覧の皆様、はじめまして。みどり市産業観光部次長の岩間と申します。今回はこのような寄稿の機会をいただきましたので、自己紹介も兼ねつつ、みどり市の森林・林業についてご紹介させていただきます。

私はこの4月より、みどり市としては2人目の林野庁からの出向者として着任しました。着任前のポストは林野庁林政課（いわゆる総務課に該当）の総務班長というところで、主に国会の連絡調整や組織定員などを担当しており、林業の実務・事業とは縁のない業務をしていました。それ以前の経歴としても、本庁では係長時代に林道予算を担当していたくらいで、そのほかでは他省庁等への出向（総務省・外務省・市町村）や国有林での勤務を多く経験してきました。

そんな中でも、総務省では地方財政措置を担当し、また平成25～27年度の3年間は福島県内の町役場に出向していました。今回縁

あつて、自身でも2度目となる市町村出向をみどり市で受け入れていただけることになり、国の職員の中でも地方の行財政に長く関わってきた方だと思います。

そんなヤツがどこからやって来たのかと思われるかもしれませんが、高校までは館林に住んでおり、ほぼ地元に戻ってきた格好です（こんな巡り合わせがあるのかと自分でも驚きました）。おかげで先日、母校のラグビー部の応援に行くことができました。残念ながらわずか2点差で全国出場を逃してしまいましたが、来年こそは頑張つてほしいところです。

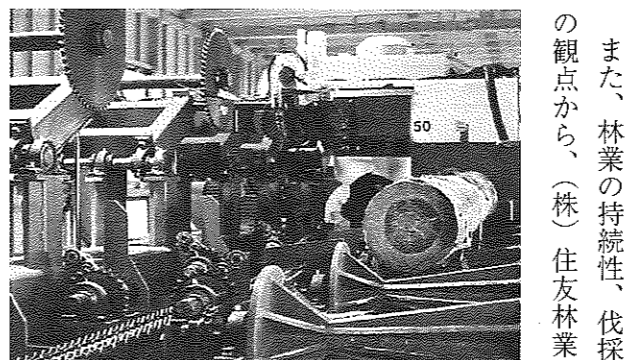
さて、前置きが長くなりましたが、みどり市の森林・林業についても紹介させていただきます。

みどり市は平成18年に東・大間々・笠懸の3町村が合併して誕生した、県内で最も新しい市です。このうち森林は大部分が東と大間々に分布しており、草木湖をはじめとする渡良瀬川の水源となっています。市域の8割を占める森林の面積は約1万7千haあり、その45%ほどが人工林です。他の地域同様、人工林の多くが10～12歳級という年齢構成となっており、いよいよこれらの資源を収穫・利用する時期に差しかかっています。

そのようなみどり市の森林ですが、木材の出荷先として、以前は渋川など県中西部か、

あるいは栃木県側に出荷するという流れが支配的であり、運搬コスト等の面で不利な条件にありました。このため、地域内に素材の出荷先を作ること等を目的に、地元のわたらせ

森林組合と協力し、杉ラミナの加工生産を行う「地域材加工センター」を平成27年に開設しました。また、この製材過程で生じる端材を活用して木質ペレットを生産し、市内の温浴施設や園芸農家で利用してもらうことにも取り組んでいます。これらは運営面での課題も多く、順調とは言えない状態ですが、木材利用の促進や森林整備の推進といった所期の目的に貢献できるよう、関係者とともに改善に努めていきたいと考えています。



地域材加工センター

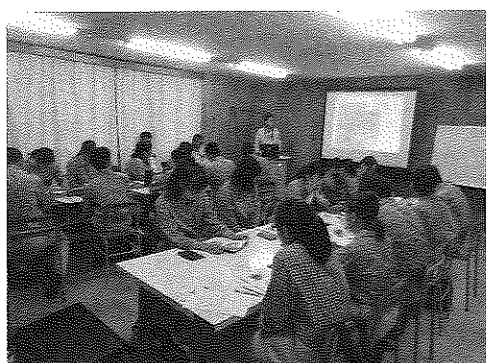
また、林業の持続性、伐採後の苗木の確保の観点から、（株）住友林業のコンテナ苗生産施設を市内に誘致しました。こちらは昨年頃からカラマツ苗の生産を開始しましたが、年間十数万本という目標はおおむねクリアできる

高校生へ向けた林業 従事者確保の取り組み

当事務所では、高校生が就業を考える際、林業を職業としての選択肢の一つに位置づけようとする取り組みを行いました。

県立勢多農林高等学校グリーンライフコースでは、森林を活用した授業を行っており、実習でチェーンソーを使用するため、安全に作業ができるようチェーンソー講習を行っています。その講師を当事務所が受けることになったので、その場を借りて生徒に林業に興味を持ってもらうための機会を設けました。

まず、林業についての理解を深めてもらうため、植栽から伐採まで一連の流れの話をしました。機械化が進んでいることに驚いているようでした。次に、林業へ就業した際の支



群馬県の林業について説明

援制度の話が、就職についての実感がまだわかないのか、あまり興味を示していないようでした。林業を職



森林組合職員による伐倒の実演

業として現実感を持ってもらうには、生徒が身近に感じている人が従事していることも大事です。赤城南麓森林組合には、2年

前に勢多農林高等学校を卒業した職員が現場で働いています。チェーンソーを使った実習では、その職員に協力をしてもらいました。年齢が近い職員が、太い樹木を手際よくねらったところへ伐採する様子は、興味を引き出す効果があったと思います。そのことは、その後、その職員に仕事の内容や就業のきっかけなどを話してもらったのですが、生徒は熱心に聞いており、「林業の魅力は何ですか？」など多くの質問を寄せられたことで裏付けていると思います。

今回はチェーンソー講習の一部の時間を借りて実施したことから、十分な話が伝えられなかったと思いますが、このような取り組みで、一人でも多くの生徒が林業に興味を持ち、林業従事者が増えることを期待します。

（渋川森林事務所通信員）



住友林業の苗木生産施設

見込みです。東毛地域では苗の選択肢としてあまりカラマツに馴染みがないと思えますし、将来の市況を今から予見することはできませんが、今やカラマツも捨てたものではないこと、高標高地や寒冷地では適地適木という観点で植栽樹種を選んでいただけよう、市としても森林所有者の皆さんに情報提供してまいります。

この4月から森林環境譲与税と森林経営管理制度がスタートしましたが、これらは近年の林政史上でもまれに見る画期的な出来事と言えます。みどり市においても、新たな財源を活用し、この地域の林業振興や木材利用の活性化に向けてどのようなことができるか、地域の皆さんの知恵もいただきながら取り組みを進めていきたいと考えています。

各地の便り

各地の便り

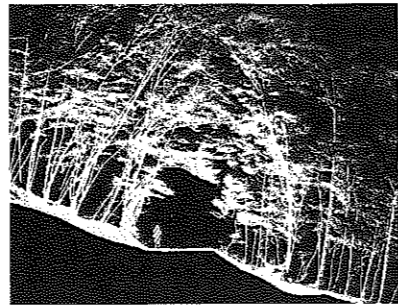
皆伐再造林先進地視察 研修会を開催しました

管内のスギ人工林等は成熟が進み、保育作業から資源の循環利用を図るための皆伐・再造林へと移行する必要があります。そこで、管内林業関係者の意欲の向上や気運の醸成を図るため、十月九日に先進的な取組をしている南佐久中部森林組合を視察しました。

当組合は、「主伐後の再造林」保育十年保証制度」を創設し、皆伐再造林を推進しています。

研修会では、先ず、長野県の職員から佐久地域に特徴的なカラマツ林業についての紹介があり、続いて組合の理事さんから、「主伐後の再造林」保育十年保証制度」について説明を受けました。当該制度は主伐で得た収入から森林所有者が二十一万円／?を負担するだけで、あとは組合が責任を持って十年間の森林の施業を行う画期的な制度です。十年間の施業は、地植え・植栽・下刈五回・除伐一回が標準で負担金を一定額にすることにより、所有者の負担や不安を取り除き再造林を行いやすくしたとのこと。主伐後の地植え・植栽・保育に係る経費には、国・県・町村の補助金が充当されます。

平成二十九年度にカラマツ林を主伐した場合で森林所有者には、およそ八十五万円/ha



取得した点群データ

行い、短時間で現地計測することができ、また、搭載した全方位レーザーセンサーから一秒間に三十万の点群データを得ることができ、それぞれの点が独自の座標値(X, Y, Z)と同時に撮影したカメラ映像から取得した色情報(RGBカラー)を持っており、これにより立木や構造物、地形等をカラー画像の三次元モデルに変換することができます。災害査定資料としては、パソコン上で必要な地形情報データを加工したものを地元市町村へ提供しました。

地上レーザースカナナーは、地形や立木等の地上物情報を取得できるため、林道や治山事業への活用だけでなく、精度の高い森林資源調査への活用も期待されています。

結びに、限られた時間と人手の中、今後の災害に備えるためにも、地上レーザースカナナーやUAVなどのICT技術を活用した調査(測量等)から設計・積算までの一連の流れを整備する必要を感じました。

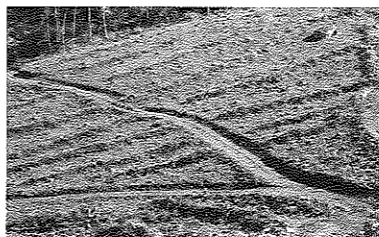
(藤岡森林事務所通信員)

「木材の販売代金」から「伐採・販売経費・再造林・保育経費」を差引いた金額が支払われました。所有者のメリットは、自らの労力無しに確実に再造林ができることにより、安心して主伐ができ、負担が明確なことから手元に残る収入がわかることです。課題としては、補助金の変動・賃金の上昇・病虫害への対応などがありますが、次世代にカラマツ林を引き継ぐため、かかった金額はすべて組合で負担することでした。なお、群馬県では植栽する場合、獣害が問題となっており、佐久地域のカラマツ造林地ではほとんど見られないとのこと、現地でも確認できませんでした。組合では、機械化も進み、森林作業は高性能林業機械で行います。当管内でも獣害対策等課題点がありますが、資源の循環利用を促進するため、皆伐再造林制度を普及していきたいと思えます。

(西部森林環境事務所通信員)



佐久中部森林組合での概要説明

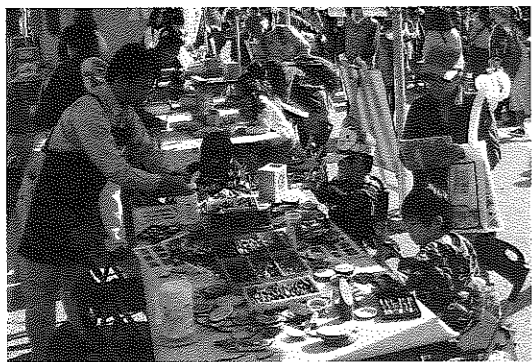


皆伐再造林地の現地状況

かぶら森と木のまつりで 木材の良さをPR

11月17日に富岡市役所前の「しるくるひろば」で開催された「第14回富岡市産業祭」の会場を一部お借りして、「かぶら森と木のまつり」を開催しました。まつりと名付けられています、クラフト体験などを通して木材に親しむとともに、木材や森林のことを知ってもらおうと目指しています。

当日はやや風があったものの、お日さまが心地よくあたるお祭り日和でした。群馬県木材組合連合会の協力による木のメダル製作のほか、どんぐりクラフトや丸太切り体験、県産材の積み木遊びなど、多くの子ども達に大人気のコーナーとなりまして、大人の方には、二期目を迎えた「ぐんま緑の県民税」の事業PRや「緑の



クラフト体験

地上レーザースカナナー による災害調査

台風十九号は、藤岡森林事務所管内の市町村にも大きな被害をもたらしました。



調査状況

この災害復旧に向けて、現地調査に移動式地上レーザースカナナーを活用し、林道の災害査定のための現地調査データを地元市町村へ提供した取り組みについて紹介します。

災害査定は、災害発生後およそ2カ月間と限られた期間の中で、迅速かつ効率的に調査、測量、設計、積算を実施する必要があります。今回のような大規模な災害の際には、被災箇所が多く、従来の手法では現地調査や測量の人手不足が危惧される状況でした。このため、現地調査や測量などの外業にかかる時間と人手を削減できる移動式地上レーザースカナナーを活用することにしました。

移動式地上レーザースカナナー(商品名: PARACOSM PX-80)は、一人でスカナナー本体を背負いながらタブレット端末で操作を



人気の積み木遊び

募金」への協力依頼、スギ丸太から作った缶下駄に似た「パッコ」やサンショウの木から作ったすりこぎ棒などを販売しました。また、来場者に林業や木材についてのアンケートを実施したところ、「住宅に木材を使用する場合、どんな点を重視しますか」との問いには「強度」「触ったときの温かみ」「価格」などの回答が上位を占めました。アンケート回答者の約7割が女性でしたので、さらなる木材利用を図るためには消費者目線の女性の協力が必要でしょう。

我々係員も、休日にごんぐりを拾ったり、通常業務の合間に加工作業などを行ったりして、童心に返ったような楽しい経験ができました。閉会近くまで一生懸命に取り組んでいる小さな子ども達を見て、「来年もまた会おうね」と心の中で思いました。

(富岡森林事務所通信員)

各地の便り

「林業労働災害防止対策研修会」を開催

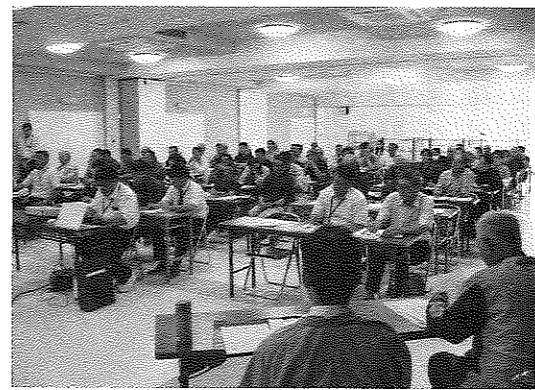
令和元年七月三十一日に管内で発生した林業死亡事故の対策として、素材生産が最盛期を迎える前の十月一日に中之条町にあるパレット文化ホールにて、「林業労働災害防止対策研修会」を開催しました。

当日は、管内の素材生産業者の現場従事者等六十六名を対象として、中之条労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部、吾妻森林環境事務所職員による林業労働災害防止への研修を行いました。



林業労働災害は、産別死傷災害における年千人率（休業4日以上）の発生率が依然と高く、中でも伐木造材作業における「激突され」による死傷災害の発生が多くを占めています。しかし、平成三十年度の死傷者数は、三十一名と統計史上最も低となりましたが、林

業現場で年間三十件もの死傷災害が発生していることは事実であります。特に、チェーンソーによる伐木造材作業による死傷災害が多いことから、今般改正された「労働安全衛生規則」により、伐木作業等における安全対策を強化する必要があると見られます。伐木作業等を行うすべての業種が対象となりますが、今回の改正の主な内容である、直径二十cm以上の立木に受け口を作る義務やかり木の速やかな処理と適正なかり木の処理が義務付けられ、また、立木の高さの2倍に相当する半径内への立ち入り禁止やチェーンソーによる伐木作業時の切創防止用保護衣の着用義務付けによる安全対策を強化しています。



（吾妻森林環境事務所通信員）

今後も、林業現場への巡回指導等を行うことにより、現場における安全作業への取組みと安全対策の向上を図っていきます。

「森林整備活動ボランティア」を実施

群馬県森林土木建設協会沼田地区は、10月30日、沼田市上発知町地内「サラダパークぬまた」に接する「おとぎの森」で「森林整備活動ボランティア」を実施しました。当日は天候にも恵まれ、当協会沼田地区より会員20人程が集まり、森林整備活動に汗を流しました。



森林整備の様子

この活動は、森林の重要性を再認識するとともに、地域の森林は自分たちで守り育てるという意識から毎年実施しています。開会式では、当協会の須田高幸理事が、「この森林整備は毎年恒例の行事であり、地域住民からも感謝されている。そういう意識をもち、これからの活動を行ってほしい」とあいさつしました。また、沼田市

の横山公一

市長からは、「毎年、このような森林整備に取り組んでいただき大変感謝している。どうかケガのないよう作業を行っていただきたい」と激励されました。



参加されたみなさん

た。参加された方々は普段は建設現場で活動しているものの、ボランティア作業では、手鎌や草刈機、チェーンソーなどを使用して手慣れた手つきで下草刈りやツルの除去、雑木の伐採などを行っていました。

森林整備を実施した「おとぎの森」周辺は、県立森林公園「21世紀の森」が隣接し、天狗で有名な「迦葉山」や「玉原高原」へのアクセス道路ということもあり、毎年多くの観光客で賑わっています。春の新緑と秋の紅葉、また今回の森林整備により周囲の山々の景観を一層引き立ててきています。

（利根沼田森林環境事務所通信員）

わたらせ森と木のまつり

令和元年十一月十日（日）、桐生市稲荷町（新川公園）に於いてさわやかな秋空のもと、「わたらせ森と木のまつり」が開催されました。この行事は、地域の十七の生産者団体が主体となり、消費者に対して木材やキノコ等産地の林産物の普及と販売促進活動を展開することにより、地域の森林・木材・キノコ産品の活性化を図ることを目的に開催されています。今回で十八回目をかぞえ、地元行事として定着しています。

当日は天気にも恵まれ去年より百人多い三千二百人の入場者で賑わいました。催し物の



積み木広場

中では、キノコの消費拡大を狙ったキノコ汁の無料配布が、順番待ちの行列が出来る程の人気で、すぐに品切れとなりました。

また、芝生広場では、木のメダルづくり、リースづくり、竹馬づくり、パネル展示などのほか、チェーンソーの丸太切りなどの実演も行われ、活気に溢れていました。さらに、木工工作や距離あてクイズのような体験イベントもあり、盛りだくさんの内容でした。

今回は親子連れの皆様に加えて、祖父母も一緒に家族連れの皆様も多く来場されました。この取り組みが、地域林業の活性化のみならず、家族のふれあいの場の提供にも繋がればと期待しているところです。

（桐生森林事務所通信員）



間伐板材へお絵かき

地域を担う人

森林・緑整備基金から

カラマツの需要に向け

～「南木山熊ノ内」社営林のカラマツを販売へ～

群馬県森林・緑整備基金が、林業公社から引き継いだ分収林に、「南木山熊ノ内」社営林があります。東吾妻町と長野原町の境にある万騎峠の南に位置し、西には雄大な浅間山を望むことができます。

「南木山熊ノ内」社営林は、昭和42年から44年の3ヶ年にかけてカラマツ約30万本の苗木を120haにおいて植栽しました。植栽当初より補植、改植を行い、「枯れては植え



植え直しされたカラマツの苗木(S60年頃)



現在(開設した作業道(幅員2.5m))

を繰り返す年が続き、昭和56年、57年には甚大な台風災害もあり、改植は昭和62年まで行われました。

補植、改植に要した苗木の数は、延べ22万本にもなります。

今、ロシアカラマツに代わる構造用合板用材として、カラマツの需要が活発になっている中で、諸先輩方の努力の恩恵を受け、漸く搬出間伐ができるまでになり、これを絶好の

「南木山熊ノ内」社営林の間伐実績

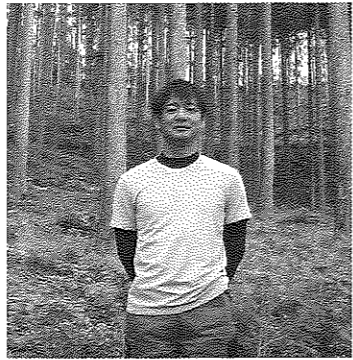
年度	搬出間伐面積 (ha)	素材販売材積 (m3)	作業道開設延長 (m)	備考
H28	19	1,153	3,464	
H29	17	1,298	4,265	
H30	18	1,285	5,826	
R1	22	1,547	5,000	設計数字

※R1は、設計数字
※少数点以下四捨五入、単位止め

機会であると考えています。

そして平成28年から作業道の整備と併用し、素材販売による収入の確保に努めています。「林業公社の二の舞にならない」を基本方針に、今後も適正な分収林の管理と経営の合理化に努めて参りますので、皆様方の変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

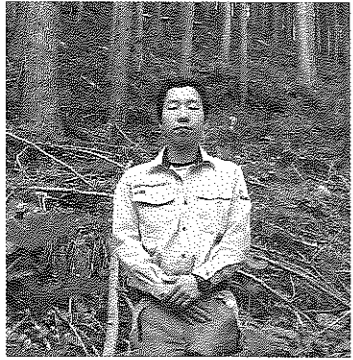
下仁田町森林組合 三井田 大地さん
一 趣味 スキー・テニス・音楽鑑賞
二 今後の抱負



三年間の研修で学んだことを生かし、安全作業を心掛け、怪我、事故を起こさないよう心掛けます。

下仁田町森林組合 三井田 大地さん
一 趣味 スキー・テニス・音楽鑑賞
二 今後の抱負

今までの緑の雇用での研修や先輩方からの指導を基に、日々の仕事をより安全な作業にしていきたいです。また、仕事をするうえで、常に完成図を意識し綺麗な現場ができるよう努めていきます。職場の仲間と共に、安全第一で作業をしていきます。よろしくお願いします。



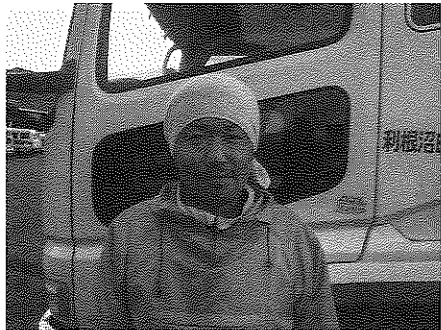
三年間の研修で学んだことを生かし、安全作業を心掛け、怪我、事故を起こさないよう心掛けます。

磯村産業株式会社 細谷 北斗さん
一 趣味 釣り
二 今後の抱負



ケガ・事故の多い仕事なので安全に作業するよう心がけて、趣味の釣りを楽しみたいと思います。

利根沼田森林組合 鶴淵 勲さん
一 趣味 読書・映画鑑賞
二 今後の抱負



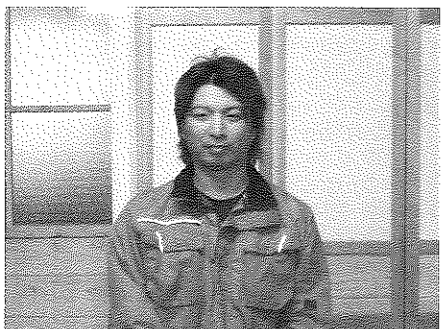
安全な作業に心がけ、技術向上を目指していきたいと思えます。

角石林業株式会社 金井 隆広さん
一 趣味 カラオケ
二 今後の抱負



中堅社員としての自覚と、人を指導できるよう、知識の向上に努めたい。

角石林業株式会社 金子 寛人さん
一 趣味 食べ歩き
二 今後の抱負



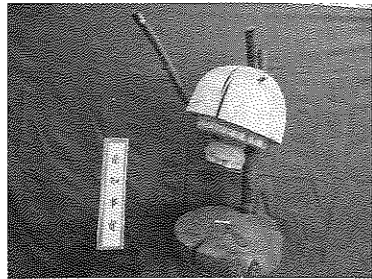
フォレストリーダー・フォレストマネージャーになるべく日々努力する。

トピックス

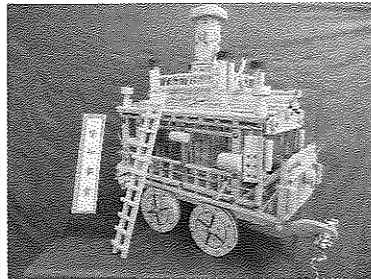
■県内の小・中学生に「木材の良さ（温かさ・加工しやすさ等）」を知ってもらうため、木工工作コンクールを開催しました。群馬県知事賞受賞作品は次の三点です。



「フクロウの親子」
群馬県立中央中等教育学校
猪内 孔盟 (1年)



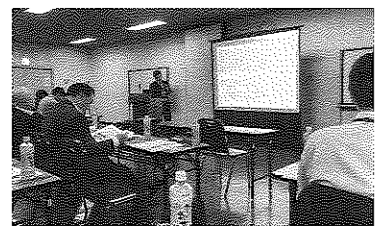
「はちの唄」
高崎市立片岡小学校
杉田 葵 (6年)



「はく力があるまんど」
みなかみ町立月夜野北小学校
小野 湊斗 (6年)

◆10月30日(水)～11月2日(土)まで県庁1階県民ホール北側にて作品展示が行われ、延べ1,134人の来場がありました。

第四十四回群馬県児童生徒木工工作コンクール



今回、キャンペーンは関東近県から70名が参加し、労働安全に関わる様々な情報共有を図ることができ、大変有意義なものとなりました。

また、林業経営体の取組事例として、吾妻森林組合の吉田参事より「『安全対策・作業方法・作業効率』は三位一体」と題し、これまで吾妻森林組合が行ってきた経営改善や技術向上の取組、またこれらの取組が安全対策に大きく繋がることについての発表が行われました。

令和元年10月24日(木)、ベトナム文化ホール(前橋市)において林業労働災害撲滅キャンペーンが開催されました。

林業労働災害撲滅キャンペーン

お知らせ

きのこ品評会

群馬県産きのこの品評会を開催します。2日間の日程で、審査(1月21日)、表彰式・展示品の即売・きのこ汁の試食(1月22日)が行われます。即売日には、厳選されたきのこをお買い求め頂けますので、是非足をお運び下さい。

日程：令和2年1月21日(火)・22日(水)
場所：群馬県庁1階 県民ホール北側
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL027・226・3234

群馬県農林水産業関係機関成果発表会

群馬県農林水産業関係機関による最新の研究や普及活動についての発表会を行います。林業分科会では、獣害対策に関する研究成果をはじめ、普及活動、きのこ栽培技術、造林・木材に関する研究成果をご紹介します。また、県民ホールにて、パネル展示を行います。この機会に研究成果をお聞きいただければと思いますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：令和2年2月5日(水)
午前10時～午後4時
場所：県庁28階 281会議室(林業分科会)
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL027・226・3235

林業労働力の確保に向けて

林業労働力確保支援センター

近年、林業労働者不足が深刻化しています。仕事は、潤沢にあるのに働き手が足りない。人手不足で、仕事の受注チャンスが逃した。離職者が出て、約束の期日までの完成が難しくなったというような事象が出ていませんか。

群馬県の有効求人倍率は、1.67倍(群馬労働局調べ10月末)と引き続き高止まり傾向です。県内林業事業体を対象とした林業労働力過不足調査(表1)では、回答を得た四十事業体のうち七五%の三十事業体が労働力不足と回答しています。

ハローワークには、十七の林業事業体から三五名の求人が出されています。群馬県の林業労働者は、七〇〇名余りなので、約5%の労働者が不足していると考えられますが、求人を出しても応募がなく困っている事業体も多いかと思えます。

表1 林業労働力過不足調査 R1.7.31現在

区分	森林組合	民間事業体	計
過不足なし	3	7	10
不足している	7	23	30
余っている	0	0	0
	合計		40

*調査数51事業体のうち回答40事業体

は、月曜～金曜までの毎日、林業就業相談を受け付けています。県林業振興課、群馬県森林組合連合会等と連携して、県内で4回、東京で3回の林業就業相談会を行うなど、林業就業希望者の募集に取り組んでいます。十一月に東京国際フォーラムで行われた森林の仕事のガイダンスでは、二九名の林業就業希望者が群馬県ブースを訪れました。Uターンを希望する県内出身の方が多くいたことが特徴的で、十二月と一～二月にかけて、開催される県主催の林業就業支援講習に参加を希望している方もいますので、林業就業者の増大に向けて、しっかり情報提供を行っていきたいと思います。



林業就業相談(オールぐんま暮らしフェア2019)

当たり前となつていきます。登山靴タイプの安全シューズの評価は、傾斜地では、踏ん張りがきかず使いにくいという意見がある一方、シューズに合った歩き方をすれば、全く問題がないという意見もあります。どのような道具でも、現場に受け入れられるには、時間が必要となります。いずれにしても、安全装具の着用が当たり前となり、労働災害を減らしていくことが、労働者確保にも繋がるものと思えます。

公社賃貸住宅

礼金不要!

仲介手数料不要

更新料不要

県内各地に13団地。一部団地では家賃2～3ヶ月無料のフリーレント等特典も。詳しくはホームページをご覧ください。



公社賃貸住宅一覧

- ① 南橋団地 (前橋市南橋町)
- ② 大利根団地 (前橋市大利根町)
- ③ 広瀬団地 (前橋市広瀬町)
- ④ サン・コーポラス総社 (前橋市総社町)
- ⑤ 井野団地 (高崎市井野町)
- ⑥ グレイス高崎 (高崎市和田多中町)
- ⑦ サン・コーポラス中居 (高崎市中居町)
- ⑧ ベルコートかたおか (高崎市片岡町)
- ⑨ レスポール錦 (桐生市錦町)
- ⑩ NBフィロ (桐生市相生町)
- ⑪ サン・コーポラス太田細谷 (太田市細谷町)
- ⑫ サン・コーポラス三野谷 (館林市上三林町)

23917はフリーレント有

新しい住まい方を提案しています 元総社公社多機能賃貸住宅

- サービス付き高齢者向け賃貸住宅全60戸
- デイサービス施設
- コレクティブ型賃貸住宅全12戸*

※集合住宅に共有のキッチン、リビング等の空間を備え、コミュニティを育むあたたかい住まい方です。

群馬県住宅供給公社 事業部 前橋市紅雲町1-7-12(住宅公社ビル2F) TEL.027-224-1881

営業日・時間 月曜日～日曜日 8:30～17:15

休業日 祝日(土・日・曜日にあたる場合は、営業いたします)・年末年始

ぐんま 住まい 相談 検索 URL▶http://www.gunma-jkk.or.jp



ぐんま住まいの相談センターから

「2019ぐんまの家」設計建設コンクールについて

「ぐんまの家」設計・建設コンクールは、群馬県及び群馬県ゆとりある住生活推進協議会の主催、住宅金融支援機構の共催で昭和62年から毎年実施し、今年で33回目になりました。県内に建設されたご家族が満足する良質で住み良い住宅を表彰することにより、県民の皆様が住宅に対する関心を一層高め、ゆとりある豊かな住生活の推進を図ることを目的としております。

県では、県民の安全で安心な暮らしや快適で豊かな住環境を創造することを目的として、平成31年4月に「林業県ぐんま県産木材利用促進条例」を施行しました。本コンクルの審査基準に、県産木材を積極的に活用した作品に対する加算項目があり、県産木材の利用促進を後押ししております。

今年度の募集では、新築住宅に33点、リフォーム住宅に2点、計35点の作品の応募をいただきました。一次審査(書類審査)、二次審査(一次審査を通過した作品の現地審査)を行い、最終的に9点の表彰作品を選考し令和元年10月26日(土)に表彰式を開催しました。

作品には、年々県産木材を積極的、効果的に活用した作品が増えております。今回の作品の中には、「心や体がリラックスできる住宅、温もりの感じられる住宅が欲しい」との施主の想いに共感した設計者が、施主、施工

者と共に「木」の材料選びの検討から始めた作品がありました。リラックスさせてくれる香りはもちろん、やわらかな音色の反響音、温もりの肌触り、目に優しい木目など、五感で良さを実感できる「木」の素材を使用した作品でありました。

また、過去の作品においても、「家族に対する愛情と慈しみを、そのまま形にしたい」という施主の想いから、大黒柱になる樹齢百年の杉を施主家族自ら山に入り、「木」を選ぶことから始め、「自分たちの家は自分たちでつくる」との施主の想いが凝縮された作品がありました。

県及び群馬県ゆとりある住生活推進協議会では、毎年、本コンクルの作品集を制作しております。「山で木を育てる人、木を材にする人、家を建てる大工さんがいて、住む人がいる。木の家の良さは、山の木を育て、木を材にして、家にする人がいるというプロセスが木の家の良さを生んでいる。」と言われております。このプロセスと、さまざまな工夫や先進的な取り組みによって生まれた、数々の素晴らしい住宅を広く紹介することにより、県民の皆様の豊かな住まいづくり、まちづくり、ゆとりある住生活の推進及び県内林業の振興活性化に少しでも貢献できるよう努めてまいります。



受賞作品(居間)

○群馬県ゆとりある住生活推進協議会事務局 (群馬県住宅供給公社)

(ぐんま住まいの相談センター)

○問い合わせ先

ぐんま住まいの相談センター

☎027-210-6634

http://jkk.or.jp/consultation/reform/

伐木作業等の安全対策の規制が変わります!

～伐木作業等を行うすべての業種が対象～

チェーンソー特別教育修了者は、令和2年7月までに、伐木等の業務特別教育の補講を受けないと、令和2年8月よりチェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができなくなりますので、忘れずに補講を受講してください。

なお、林災防群馬県支部では、補講イ(安衛則第36条第8号の修了証をお持ちの方対象)を昨年7月より実施していますが、補講工(安衛則第36条第8号の2の修了証をお持ちの方対象)も令和2年3月から実施します。

補講実施予定表は、県木連HPに掲載してあります。

http://gunma-wood.com

連絡先: 林災防群馬県支部 電話番号: 027-266-8220